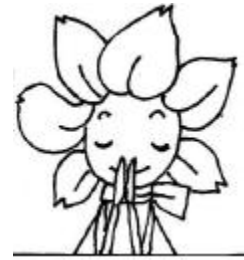




## 図書館先進地視察報告 (第1回)

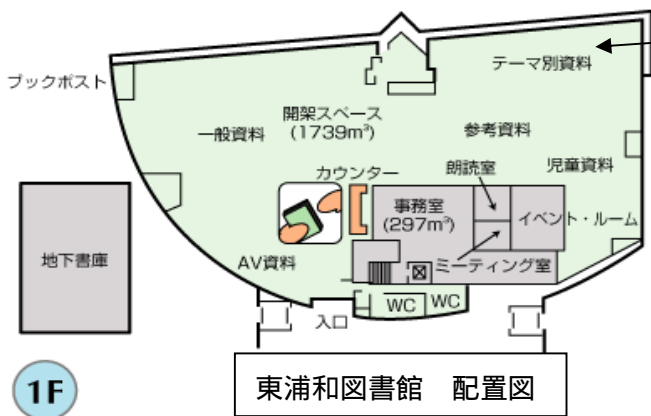


いつも「み・リン」を読んでくれる皆さん、本当にありがとうございます。

私たち図書館職員は、小諸市の新図書館をより良いものにするために、新図書館の設計の参考になる図書館や、先進的な取り組みをしている全国の図書館を視察・研修してきました。今後、数回に分けてそのご報告をさせていただきます。

(視察先は平成25年度に伺った図書館です)

さて、記念すべき第1回は・・・・・・・「埼玉県東浦和図書館」です！



この配置図を見て、「あれ？どこかの新図書館構想に似てるなあ」と思ったあなたは「通」です。そおなんです！小諸市の新図書館と「酷似」しているんです！（下図参照）

両図書館の特徴は何と云っても、1階ワンフロアを丸々使った設計。東西に長あ~~~~~く延びる渡り廊下はフラットでとても気持ち良いですよ。ですが・・・・・・。

床材として全面フローリングを採用している東浦和図書館では、子ども達が駆ける音や利用者が普通に歩く音さえも響いてしまっていたそうです。

「カツカツ」「コツコツ」「ドンドン」と。これにより、音を出す人も聞く人も落ち着かない状態になってしまったとの事です。（現在は職員さんの努力により吸音素材を設えることで大幅に改善されています）

さて、これを踏まえて小諸市新図書館の床材はどうするの？という事ですが・・・・・・。

確かにフローリングは魅力です。木目の落ち着く感じは本当に素晴らしいですよ。

ですが、それ以上に小諸市の新図書館は多くの方に気兼ねなくご利用いただける場所にしたいと強く考えています。

ベビーカーを押して図書館に来るお母さん、児童コーナーに集まる子ども達、学生さんにビジネスマン、病院の入院患者さん等々、本当に様々な皆さんが、最低限自分の足元から発する「音」に気兼ねを感じない床材という、やはり「カーペット」だろうという事で、まだ決定ではないですが、現時点で新図書館の床材はカーペットを想定しています。

- 東浦和図書館
- ・平成9年4月25日開館
  - ・蔵書約224,000冊
  - ・開架スペース1,739㎡ 事務室297㎡
  - ・職員数13名
  - ・年間貸出数 総数906,222冊
  - ・年間利用者 235,700人



小諸市新図書館 配置図(案)